



## ワークショップ、ついに最終回。 それぞれの思いを胸に「夢の企画」発表！

2020年秋のオープンを目指して動き出した旧秋田県立美術館。芸術文化によるまちおこしの拠点「(仮称)秋田市文化創造交流館」の運営管理計画策定を目的に開いてきた「せばなるあきた」は、ついに最終回を迎えました。回を重ねることで思いはより明確になり、参加者同士の関係性も深まっていくなかで行われた最終回では、旧県美を舞台にした「夢の企画」が提案されました。11月18日、秋田市役所2階の山王一丁目食堂で開かれた第4回「せばなるあきた」をレポートします。



# 11/18 せばなるレポート

最終回となった旧県美再生！ワークショップ「せばなるあきた」。もう知った顔もあれば、初めて参加の人もいてこれまで通り和やかな雰囲気が始まりました。今回はワークショップを運営するアーツセンターあきたが、旧県美の大きな枠組みを描いたステイトメントを発表。今回はこのステイトメントや活動方針をもとに、「クリエイティビティ」について、市民企画事業や人材育成事業、コーディネーターやメンターなどの体制、アーカイブ、各施設との連携、柔軟な組織運営をしていくことなど現段階の運営管理計画素案を解説しました。秋田市企画調整課からは、施設周辺の空間のしつらえの方向性について話がありました。前回からスタートした夢の企画づくりも、いよいよ大詰め。参加者それぞれが情熱と主体性を持って提案した企画をもとに、「この指とまれ」方式でグループになり話し合いを続けました。

ファシリテーターはこのお二人！

**篠原 幸子**  
(NPO 法人場とつながりラボ home's vi)

最終回までファシリテーターを務めた篠原さん。「旧県美を活用することだけでなく、ありたい“まちの未来”を考え、思いがあふれ出す場になればいいと思います。これまでやってきた。参加者同士が仲良くなって、これから楽しいことを企画したり助け合ったりしてもらえればと願っています」

**平元 美沙緒**  
(まちづくりファシリテーター)

「言い足りないことがあったら何でも言ってください。全て書きます」と平元さん。全4回のグラフィックレコーディングは模造紙32枚！

## 10の夢の企画

### 若者を対象にした公募による作品発表事業 「見ればー(仮称)」

高校生～大学院生を対象に映像・平面作品等を公募し、スタジオAの大画面を発表の場とする。大空間で映像、演劇などとのコラボレーションも。



### あきたキッチンスタジアム ー文化としての食と酒の再発見ー

秋田の文化を掘り起こし、芸術文化に興味のない人も旧県美に来るように、食や酒をテーマにイベントを開催。「きりたんぼvsだまこ」など県内の人だけでなく観光客も参加できる仕掛けをつくる。施設をオープンにしているいろいろな人が集まる場として、キッチンスタジアムができるような設備に。

### 平野政吉について調べるなべっこ遠足

世代を超えて平野政吉のことを学びながら屋外空間を使用してみんなで楽しくなべっこ遠足。藤田嗣治の絵をコレクションするなど平野の人生を知り、お腹もいっぱいになってもらう企画。



### 統一テーマによる全館イベント

月ごとに水、色、食など統一テーマを設け、舞踊、料理、作家の講座などを開催。全館を使って子どもたちが料理、音楽、舞踏、美術等のホンモノに触れ、「好き」が見つかる場になればいい。テーマに可変性を持たせる。

### まちのアイデアが生まれるシェアアトリエ (クラフト市)

旧県美を中心に、まちにアートやクラフトがあふれ出す。中心市街地に点在するパブリックアートや作家のオープンスタジオ、シェアアトリエやクラフト市が開かれ、人の回遊が生まれる。旧県美がポータルな情報発信の場として機能し、動線をつくっていく。

### 家族でお散歩

旧県美・明徳館・千秋公園でおはなし会や体操教室、芝生で秘密基地、星空見学会、マルシェ、洋服・玩具の交換会等を同時開催。1日中親子で遊べる空間に。育児したいまちNo.1の秋田市に。

### まちをめぐる数珠つなぎトーク

まちの歴史を知ることで秋田をもっと好きになる。まちの達人が知り合いを紹介しながらリレー形式でトークイベントを開催。明治～昭和のまちの歴史紹介とまち歩き、昔あった本屋等、毎回テーマを変える。外から見える空間だったり、テーマによって会場を変えるのもいい。

### 民俗芸能×パフォーミングアーツ

後継者不足が課題の民俗芸能と、パフォーミングアーツの担い手が協働するワークショップを開催。民謡とダンス、シェークスピアの日本版と番楽を組み合わせた。民俗芸能学校で担い手を育成し、民俗芸能で食べていける環境を秋田に整備したい。資料のアーカイブも。

### 移動コタツ

人と人をつなぐコタツで旧県美のいろいろなスペースをハッキングし、偶然居合わせた市民が語り合える場を創出する。街中に出張あり。数珠つなぎトーク、遠足など他のイベントともコラボできる。

### ジャンル・時代・国境を越えた多分野同時 多発的移動パフォーマンス

全館を使って、ちびっこアート劇場、ダンス、民俗芸能、コスプレ大会、昭和のインスタレーションやファッションショー、大壁画制作などを開催。多分野・多世代のパフォーマーが集結し、サーカスのような1週間を繰り広げる。

## 「せばなるあきた」ワークショップの目的

- 旧県美を活用することで実現したい、「ありたい」まちの未来を考える。
- それを実現するために…旧県美の「こんな場所になればいい」「こんなのがあればいい」を考える。
- ここにいる皆さんの関係性を深める。
- 旧県美とその周辺がにぎわうワクワクを考える。



### 第4回目のゴール

- 運営管理計画のイメージが共有できている。
- 明日からも企画の実現に向けて動いていこう！と思っている。
- ここにいる皆さんの関係性がさらに深まっている。
- 懇親会に出ようと思っている。

それぞれのグループがニュース形式で発表！

メンターからのアドバイスや、参加者同士の意見交換によってブラッシュアップされた「夢の企画」。提案された10の企画がこちらです！



### メンターからのコメント

**石井 宏典** 秋田市地域おこし協力隊

これら全ての企画が実現できるのではないかなと思いました。企画は寝かせてしまうと、死んでしまう。いかに動かし続けるかが大事。分解して小さなステップに分けてもいいので、ぜひ動き続けてほしいですね。



**鎌田 光明** 秋田工業高等専門学校 助教・博士

企画提案者同士が関わり合いながら、一緒にやっていけるような企画だなと思いました。自分たちの案を実現することだけにこだわらず、提案者と市民が関わり合いながら持続的な可能性を探っていけたら面白い。それぞれが企画をあたため、運営者、市役所の方にも協力してもらいながらぜひ実現してほしいと思います。



「せばなるあきた」を飛び出して分科会と勉強会を開催。楽しい夜になりました！

せばなるあきた分科会  
Ishii Lab 編

石井 宏典

秋田市地域おこし協力隊



「企画ってどうすれば実現しますか？」という石井さんの問いかけに始まり、企画の実現に必要な不可欠なものを話し合ったり、Being（あり方）,Doing（活動や行動）,Having（財産や肩書き、経験）を明確にして自分の Being を深掘りしたり。将来やりたい姿への道を可視化する作業はいかがでしたでしょうか？

日時 11月2日 19:00-21:00

会場 旧iMac Garage

Discover Kamenochi  
「+クリエイティブ」な  
日常を考える

永田 宏和

株式会社iop都市文化創造研究所 代表取締役  
NPO法人プラス・アーツ 理事長  
デザイン・クリエイティブセンター神戸  
【KIITO】 副センター長



「みんながクリエイティブになる。そんな時代の中心になる」をコンセプトに事業を展開している KIITO の活動や、「+クリエイティブ」の考え方をうかがいました。土、水、風、そして種を意識したまちづくり、地域づくりやクリエイティブの考え方が印象的でした。

日時 12月18日 19:00-20:45

会場 KAMENOCHO STORE

(仮称)

秋田市文化創造交流館  
運営管理計画素案報告会

旧県立美術館再生！ワークショップ「せばなるあきた」の成果を運営管理計画（素案）としてまとめました。より良い運営管理計画とするために、現状を共有し意見交換をする場を開きます。様々な視点からのアドバイスが必要です。どなたでもお気軽にご参加ください。

日時 1月26日 [土] 10:00~12:30 (受付9:45~)

会場 にぎわい交流館AU 2階展示ホール

定員 60名

せばなるあきた分科会

全く新しい本の読み方を学ぶ

せばなる秋田の分科会、今回は1冊の本を多人数で分割して読み、発表して共有することで、より深く読み解くことができると話題の「アクティブ・ブック・ダイアログ」を認定ファシリテーターの篠原幸子さんをお迎えして開催します。

日時 2月3日 [日] 10:00~13:00 (受付9:45~)

会場 フォンテAKITA 6階 情報発信コーナー

定員 15名 (事前申込者優先) 持ち物・参加費 不要

申込み

上記事業に参加をご希望の方は、【お名前/電話番号】をNPO法人アーツセンターあきたまでご連絡ください。また、申込受付は先着順とさせていただきます。

NPO 法人アーツセンターあきた

〒010-1632 秋田市新屋大川町 12-3 アトリエももさだ内

TEL: 018-888-8137 FAX: 018-888-8147 (電話受付 平日 9:00 ~ 17:00)

mail: info@artscenter-akita.jp